

カワラヨモギの特性分類表

| 特 性 | | 植物の品種名または系統名 |
|-------|---|-------------------|
| 区 分 | 形 質 | 在 来 種 |
| 草 状 | 草姿（1年生開花期における草型） | 直立型 |
| | 草丈（1年生開花期における高さ） | 中 (130~160 cm) |
| 葉の形状 | 茎の中部における葉の切れ込み | 1~2回羽状全裂 |
| | 茎葉の裂片の形状 | 糸状 |
| 花の形状 | 頭花の形状（1株当たり5~10頭花を観察） | 球形または卵形 |
| | 頭花の長さ（同上） | 中 (1.5~2.7 mm) |
| | 頭花の幅（同上） | 中 (1.2~1.7 mm) |
| | 中心花の数（同上） | 中 (2~8) |
| | 周縁花の数（同上） | 中 (3~9) |
| 種子の形状 | 種子の長さ（完熟期のそう果） | 中 (0.8~1.1 mm) |
| | 中心花の結実性 | 無 |
| 開 花 期 | 開花の早晩 (1年生株において、50%の花で花粉の飛散が確認された時期) | 中 (9月上旬~10月) |
| 環境耐性 | 耐病性（1年生夏期に根腐れ株を生ずる程度） | 中 |
| | 耐暑性（1年生夏期に枯死株を生ずる程度） | 中 |
| 収 量 性 | 1年生における1a当たり乾燥花穂重 | 中 (27~32 kg) |
| 成分特性 | 乾燥花穂中のカピラリシンの含量 | 0.1%以上 |

(栽培地：国立医薬品食品衛生研究所筑波薬用植物栽培試験場)